



今年度最初のグローバル通信をお届けします。生徒諸君の視野を広げる一助となるような情報を発信していきますのでぜひ目を通してもらえると幸いです。

1月6日から3月18日まで実施されたカナダ短期留学が無事終了しました。今回は4名の生徒諸君が参加しました。現在は学年が上がって高校2年生になっていますが、原稿を寄せてもらいました。2回に分けて掲載します。

カナダ研修

高校2年1組 須田 光太郎

1月6日から3月18日まで、カナダオンタリオ州にある町オリアにいわゆる短期留学という形で滞在してきました。今回はその話をしようと思います。

短期留学、というとまるで立派なことをしたように思えるかもしれませんが、今振り返ってみれば、実際にやったことは、2か月半、それも1学期の最後の方から2学期の頭という微妙な期間だけにやってきた、英語をたいして流暢にしゃべれるわけでもない外国人留学生として、オリアという町の中でただ暮らしてきた、ということだけだった気がします。と言っても、何も日本と何も変わらない生活をただ過ごしてきた、というわけではなく、様々な違いを感じたり苦労したりすることはありました。ものの勝手がわからないようなことも多々あったし、朝から晩まで英語でやり取りしなければならなかったし、学校の授業も英語だし、学校の図書館に置いてある漫画も英語だし、なぜか至る所にフランス語が書いてあるし。それを含めたうえで、日本へ帰ってきて振り返ってみると、「ただ生活してきただけ」という感覚だけが残っているのです。



向こうへ行く前は、向こうのことについて色々なことを考えていました。向こうではどんな人がいるのだろうか、学校の雰囲気はどんな感じなのだろうか、ホストファミリーはどんな方なのだろうか、友達はあるのだろうか、そもそも自分の英語が通じるのだろうか、そして、向こうに行ったらどんな成長ができるのだろうか、など。特に出発前日はそんなことを考えながら荷物を必死に詰めていたことを覚えています。その時の僕は、この短期留学を、例えば家族と行く海外旅行のような、不思議な出会いや発見に満ちたイベントのように感じ、刺激に満ちた毎日が送れることを期待していました。

その期待に応えるように、向こうへ行き、様々なことを発見しました。牛乳の入れ物が違う。

家の中では靴は脱ぐものなのか。学校で朝国歌を流すのか。英語が全然聞き取れない！友達の作り方が分からない！でも友達はできた！のように。ただ、だんだん、前は新鮮に感じていたものが当たり前のようになって、途端に自分が何をしに来ているのか、こっちでもこんな単調な毎日を過ごしているのだろうか、と焦ったり不安になったりすることも多々ありました。

このように、新しい発見をしてはそれに慣れ、発見をしては慣れを繰り返すことで2か月半は過ぎていきました。きっといろんなことにだんだんと慣れきってしまったから、僕はただ普段日本で過ごすのとさして変わらないような日常を向こうで過ごしてきただけで、そんなたいそうなことはしていないし、ましてや成長などあまりできていないのではないかと感じているのだと思います。

ただ、同時に、海外に滞在・留学するということがこういうことなのかもしれないとも思いました。ただ新しいものを発見し、それを新しいものだとして日記帳に記録するだけではなく、それを普段の生活の一部として、とるに足らないこととして思えるように自分の中に取り入れる、それこそが海外に滞在することによって得られる成長の一つなのではないか、そんな風に思うこともできるようになりました。

自分の英語に少しでも自信があって、自分も異文化体験というものをしてみたい、留学に興味がある、という方がいれば再来年のカナダ短期留学、またそれ以外にも留学のプロジェクト自体はたくさんあるようなので、ぜひ申し込んではどうでしょうか。

ご精読ありがとうございました。Merci beaucoup de lire!!

カナダ短期留学を振り返って

高校2年8組 瀬戸 章介

僕は前年度の3学期間である1月6日から3月17日まで海城の短期留学プログラムでカナダのオンタリオで過ごした。同学年4人で行き、2人はTwin Lakes Secondary Schoolに、僕と中西君でOrillia Secondary School (以下OSS)という現地の学校に通った。このプログラムに参加した目的は英語の語彙を増やすことと日本ではできない体験をすることであった。後者に関しては、カナダでの生活、習慣、イベント、旅行だけでなく、日本ではなかなか機会を得ることのない「英語を話す」という力をのばすことも含んでいた。

英語の学習面では、留学前から単語帳や授業で習う内容で知識としてできるだけ頭に入れた。そしてカナダでは沢山それらの知識を会話やSNSのチャットで使ってみて、勿論伝わらなかったり、訂正されたりがあり、ホストファミリーや友達との会話や教会の講演会で英語を吸収して授業のプレゼンテーションで使うということを繰り返したことにより、単語を生活の一部として定着させることができたと思う。また、本物の英語を使う人たちが周りにいる環境なので、知っている単語でも「こう使うのか！」と驚かされたり、逆に日本語では合っていても「こうは使わないのか」という発見・体験ばかりでよく世間の言う「生きた英語」を学ぶ事が出来た。学校の授業でも英作文の問題で、先生から「こういう表現はあまり使わない



な。」と言われた経験がある人もいると思うが、そういった英語の感覚を知識としても勘としてもこの留学で学べた。

この留学で僕は英語以外にも大事なことを学んだ。それは家族、友達を大事にすることだ。当たり前だと思う人が多いだろうが、自分の態度などを今一度振り返ってもらいたい。これはホストファミリーがクリスチャンで教会に行ったり、彼らの友達の家によく遊びに行ったことが影響していると思う。僕のホストファミリーは言葉通り愛し合っていて、僕より年下のホストブラザーとシスターも家事も分担して、全員でお出かけをするという素敵な家族で、一方僕は日本では勉強と部活を言い訳にして家事は全くやらなかったし、大きい態度をとることも多々あり、それを猛省した。また、彼らの友達の OSS に通っていることもたちと仲良くなり、またその友達と仲良くなりを繰り返し友達が増えていったのが嬉しかった。向こうでできた友達の中には授業で仲良くなった人もいれば留学生の多い OSS のインターナショナルクラブで知り合ったいろいろな国籍の人がいて、彼らから聞く話は新鮮で、英語の上達に役立った。彼らは僕を映画に誘ってくれたり、フットサルに誘ってくれたり、親切な人ばかりだった。でもそれは僕の日本の友達もそうで、そういった友達とのつながりを支えられている自分を再認識し、そのつながりを大事にしなければいけないと思った。

このホームステイによって英語力では聞く力と話す力は格段に上げることができ、思いがけず、自分を一回見直すことができた。このような貴重な機会を恵んでくださったグローバル部の先生方、留学までサポートしてくださった先生方、留学に賛同してくれた家族に感謝したい。

夏のイベント紹介

新年度が始まったばかりではありますが、夏休み中のイベント案内が既に各所から届いています。随時紹介していきますので興味がある場合はグローバル教育部（3号館1階）まで来て下さい。資料が多めに届いている場合には差し上げます。但し、グローバル教育部では各プログラムの詳細までは把握できませんので、細かい情報は各自で各主催団体へ問い合わせして下さい。

海外で学ぶ

- ①次世代養成プログラム 高1～高3（英検2級以上） I S A
7月21日（土）～7月28日（土） アメリカ・カリフォルニア大学バークレー校
49万8千円
4月22日（日）4月29日（日）5月6日（日）に品川にて説明会実施予定
- ②帰国生限定 Global Empowerment Mindset Program 高1～高2 I S A
8月7日（火）～8月15日（水） アメリカ・ロサンゼルススクレアモント大学 他
海外在住1年以上、英検準1級以上が目安 54万9千円
4月22日（日）、5月13日（日）に品川にて説明会実施予定
- ③サンフランシスコ短期研修 高校生 Ayusa
7月28日（土）～8月4日（土） アメリカ・サンフランシスコ
27万5千円（航空券は別途） 5月9日（水）申し込み締め切り
- ④オレゴン州立大学サマープログラム 高校生 エル・インターフェイス
8月9日（木）～8月28日（火） アメリカ・オレゴン州
\$3,250（航空券は別途） 6月1日（金）申し込み締め切り

2020年以降の大学受験における英語4技能試験について

現在の高校1年生が大学受験を迎える2020年から受験制度が大きく変わるの皆さんご存知の通りです。英語の試験もただ読んで訳すだけという入試から4技能のバランスを取れた受験生を選抜できるように民間団体が実施する試験のスコアの一部が採用されるようになります。

3月下旬に発表された通り以下の試験が4技能試験の候補として採用されることになりました。

ケンブリッジ英検

英検（新型）

GTEC

IELTS

TEAP

TEAP CBT

TOEFL iBT

TOEIC

一方で東京大学は外部試験のスコアを合否選抜には利用しない方針との報道もされています。他大学への影響も少なくないと言われてはいますが、詳細はまだ不明です。

それぞれの試験の実施回数・実施場所・受験料金について、受験生やその保護者の居住地域や収入などの点から平等性が担保されるのかといった点でまだ不確定要素も多いのが実状です。海城生としては周りの情報に振り回されるのは得策ではありません。毎日の英語の授業を真剣に受けることが将来の合格に直結することは間違いありません。制度がどんなに変わろうと日頃の小テストの準備、ワークブック類の提出といった小さな活動の積み重ねを疎かにせず努力を続けていきたいと願っています。

放課後の英語特別講習について

今年度も外国人の先生による放課後の英語特別講習を実施します。この講座はある程度のレベルは前提としますが、帰国生に限定はしておりません。英語を話す力を伸ばしたいと思っているような生徒諸君はぜひ参加してみてください。中学生と高校生というくくりを原則にして金曜日の放課後に1講座ずつ設定します。講座案内を後日教室掲示します。例年掲示を見落としてしまう生徒諸君がいるようなのでご注意ください。この講座はウェブ申し込みができないので指定期間内にグローバル教育部（3号館1階）まで申し出る形で申し込んでいただきます。尚、中学1年生は1学期は学校に慣れることを最優先にしていますので、1学期の講習は受講することができません。

平成30年度のグローバル教育部

中学2年生以上の生徒諸君は既にご存知かと思いますが、在学中の留学・海外研修、高校卒業後の海外大学進学相談、帰国生に対する支援などを担当している部署です。3号館1階にオフィスがあり、岡崎・山口（両名とも英語科）が常駐しております。授業、会議等で不在の場合もありますが、何か相談がある場合には遠慮なくお訪ね下さい。今年度は両名とも金曜日が研究日で原則不在となります。